

北海道総合地質学研究センター 第14回公開講座(2024年6月22日 土曜日)  
北海道教育委員会2024年度前期道民カレッジ連携講座(教養コース)指定  
後援 札幌市, 札幌市教育委員会



# 山はどうしてできるのか

## —地球の凹凸(地形)の謎—

山々は偶然にあるのではなく、地質学的な背景を持っている。本講座では、地球の凹凸の特徴や、その地質学的背景、北海道の山々の成因などについて解説する。



札幌西方の山々(上)と北海道の背骨:日高山脈(下)

**講師/ 宮下純夫** (北海道総合地質学研究センター)

北海道江別市出身、北海道大学理学部卒業、理学博士、新潟大学名誉教授、元日本地質学会会長、北海道をはじめ世界中の現在及び過去の海洋地殻の研究に従事

**日時 / 2024年6月22日(土) 13:30-15:30** (13:15 開場予定)

**会場 / かでる 2.7 北海道立道民活動センター**(札幌市中央区北2条西7丁目 **920会議室**)

**参加費 / 1,000円** (会員・高校生・学生は半額) **参加定員 / 40名**

**申込期限 / 2024年6月20日** (参加定員まで余裕があれば前日まで受け付けます)

**参加申込・問合せ先 / E-Mail: office@hrcg.jp Tel: 080-5830-2016**

**主催 / NPO法人 北海道総合地質学研究センター (HRCG) (<https://www.hrcg.jp/>)**

## 講義の概要

日本の国土の大部分を占めているのは山地で、多くの人々の生活の場となっているのは平坦な平野部です。こうした地表面の凹凸は地形と呼ばれますが、実は地球の地形は、個体型惑星の中でも独特の特徴を有しており、火星や金星、月などとは大きく異なっています。一方、我々に最も身近な地形である山々は、美しい景観を生み出し、私たちの生活に潤いを与えてくれます。しかし、山々は偶然に出現するのではなく、山々が形成される理由があるのです。今回の講座では、地球全体の大地形や世界や北海道の山々の成因について解説します。

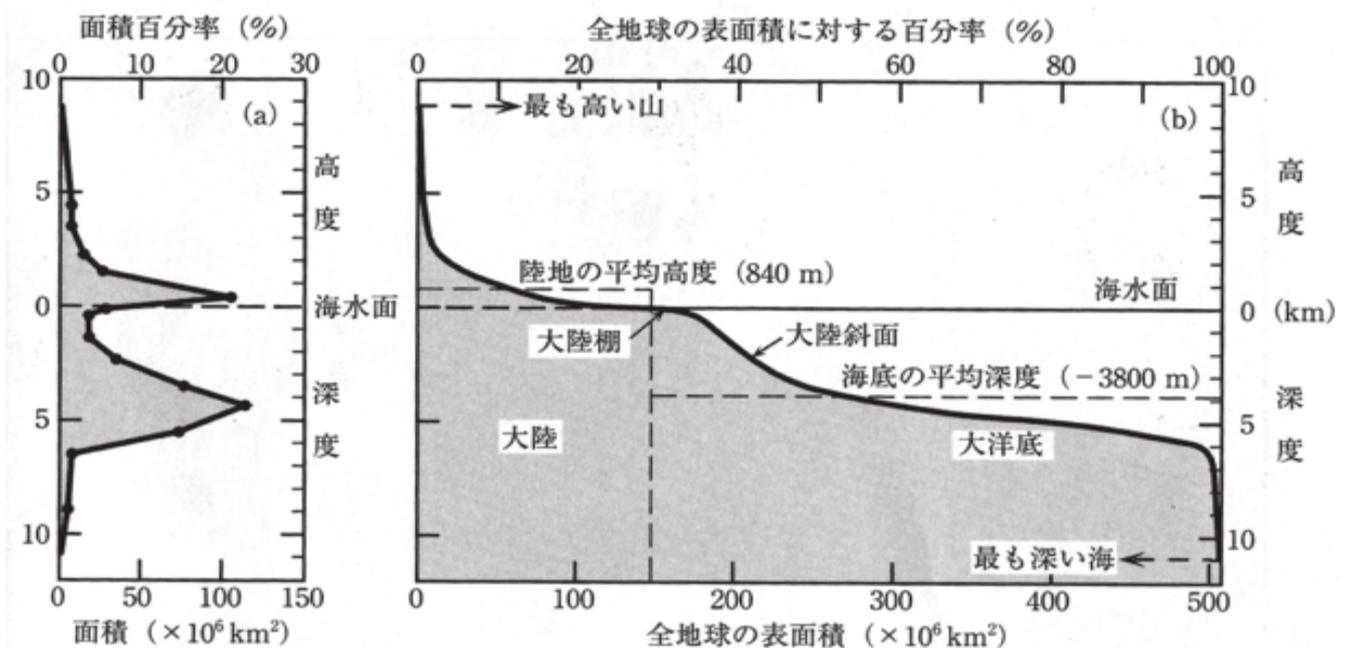


図 2.1 地球表面の高度と深度の分布 (Wyllie, 1971 による)  
(a) と (b) については本文参照.

## 講演者のプロフィール

宮下純夫 (みやした すみお)

北海道総合地質学研究センター理事長・シニア研究員, 新潟大学名誉教授  
日本地質学会元会長



## 略歴

北海道江別市生まれ

1970年 北海道大学理学部地質鉱物学科卒業, 1979年 同大学院博士課程修了

1984年 新潟大学理学部・自然科学研究科にて教育・研究に従事, 北海道や太平洋, インド洋, オマーンを中心とした世界各地の過去及び現在の海洋地殻の研究に取り組む.

2018年, 故郷北海道へUターン, 江別市在住

2023年 日本地質学会名誉会員

北海道総合地質学研究センターでは各種活動や公開講座等の情報をメールマガジン (HRCG ニュースレター, 不定期) で配信しています. 購読をご希望の方は [office@hrcg.jp](mailto:office@hrcg.jp) 宛までお申し込みください